

化學研究所

講 演 集

第 七 輯

昭和十二年八月

京都帝國大學

化學研究所

目 次

1. 電解隔膜法に依る苛性曹達を ヴィス コース製造に使用するの可否に就て	研究員	工學士	隅松 田 武 彦 原 文 夫	1
2. 水素價測定装置に就て	講 師	理學士	丸 山 勉	7
3. ラメーン工場に於ける銀の回収	研究員	理學士	田 川 昇	13
4. 超デュラルミンの研究(第一報)	所 員	工學博士	西 村 秀 雄	15
5. 低アルカリ硝子と其特性	所 員	工學博士	澤 井 郁 太 郎	23
6. デフテリヤの他働免疫に關する實驗的研究		醫 學 士	齋 藤 昌 二	30
7. デフテリヤの經氣道的免 疫に關する實驗的研究	研究員	醫 學 士	濱 田 仁 生	42
8. 黴毒の再歸熱療法に於ける免疫學的研究	研究員		山 下 朝 橋	52
9. 脂肪酸アミノスルフォン酸縮合體に就て	所 員	工學博士	木 村 和 三 郎 谷 口 英 夫 志 方 益 三 郎 藤 井 金 次 郎	57
10. 樺太ツンドラ地帯調査報告(第一報)	所 員 講 師 助手	農學博士 農學士 農學士	佐 藤 井 金 次 郎	71
11. コバルトを含有する銅、アルミニウム 輕合金の焼戻硬化組織に及ぼすマンガ ン及マグネシウムの影響に就きて	研究員	理 學 士 理 學 士	江 村 孝 之 中 村 定	111
12. コバルト洋銀に就て(第十二報)	研究員 研究員	理 學 士 理 學 士	田 村 計 三 林 村 茂 壽	117
13. ペントザン定量法に就て	研究員	農 學 士	伊 佐 三 郎	123
14. 微生物の生化學的研究	講 師	理學博士	荒 木 新 太 郎	128
15. 腫瘍の生化學的研究(B第三報)	所 員 研究補助	醫學博士	内 野 仙 治 島 津 和 雄	131
16. 腫瘍の生化學的研究(A第二報)	所 員 助 手	醫學博士	内 野 仙 治 吉 岡 政 七	134
17. 腫瘍の生化學的研究(A第三報)	所 員 助 手	醫學博士	内 野 仙 治 吉 岡 政 七	139
18. タングステン鑛の新冶金法	所 員 講 師	工學博士 工學博士	渡 邊 俊 雄 野 滿 朝 亮	142
19. 光電管を利用する比色定量法	所 員	農學博士	近 村 藤 山 金 助 藤 山 金 助	144
20. 大豆の Jecorin に就て	所 員 助 手	農學博士	近 森 藤 山 金 助 森 藤 山 金 助	168
21. ヴイタミン類の局所作用の研究(第一報)	講 師 研究囑託	理 學 士 醫學博士	丸 山 彌 壽 男	179
22. ヴイタミン類の局所作用の研究(第二報)	講 師 研究囑託	理 學 士 醫學博士	丸 山 彌 壽 男	184
23. ヴイタミン類の局所作用の研究(第三報)	講 師 研究囑託	理 學 士 醫學博士	丸 山 彌 壽 男	190
24. 電氣界面攪亂(第九報)	所 員 助 手	農學博士 農 學 士	志 方 益 靜 上 田 三 男	194
25. 膠質醫藥に就て	所 員	醫學博士	松 本 信 一	208
26. アムモニアと二酸化炭素との反應	研究員	理 學 士	吉 田 武 子	213
27. 腫瘍の生化學的研究(A第四報)		醫 學 士	市 岡 冬 太 郎	224
28. Acyl-3-amino-4-oxypyhenylarsinsäure の酵素並に滲に對する態度に就きて		醫 學 士	市 岡 冬 太 郎	226